

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 岩手医科大学歯学部 佐々木 勝忠 先生
2. 演 題 咽喉マイクと拡声器、スマホビデオを使った
頸部聴診法について
3. 日 時 2019年6月11日(火)16:00～19:00
4. 場 所 演習室(歯科棟南4階)
5. 講義要旨

嚥下障害の検査法には、嚥下造影検査(VF)や嚥下内視鏡検査(VE)があり、ベットサイドや在宅での検査法としてはVEが選択されている。しかし、認知症患者ではVEによる検査は困難である。頸部聴診法は、使用する器具が簡便で、咽喉マイクと拡声器、スマホビデオを使うことにより、対象者の嚥下状態を他職種の者と共有することができ、嚥下リハビリ、食形態、食事介助の連携に寄与するところが大きい。

本講義では、平成30年度、さわうち病院入院患者と関連特養ホームでの嚥下回診(延人数89名、実人数51名、平均年齢81.4歳、脳血管障害58.8%、認知症29.4%)の症例を紹介しながら、頸部聴診の有用性について検討する。

連絡先:財津 崇 (健康推進歯学分野 内線5476)